

これからの働き方を考える

ICTを活用！テレワークの可能性

－ 隠岐の島町での取り組みより－

有限会社Willさんいん



Willさんいんの会社概要

事業内容

【教育事業】

就職・再就職支援
職業訓練
パソコン・タブレット研修
SNS活用研修
マナー・接遇研修
コミュニケーション研修
キャリアデザイン研修
情報セキュリティ・モラル研修
Webアクセシビリティ研修
資格試験検定対策

【キャリアカウンセリング】

【Web制作】

WordPressサイト構築
HTML・CSSコーディング
Webアクセシビリティ対応
PDFのアクセシブル化

【女性・地域支援】

テレワーク推進事業
子育て支援
地域ICT活用支援

2000年 SOHOのエージェントとして活動開始

2001年 有限会社ウイルさんいん
(通称:Willさんいん)設立

2015年 代表者変更
代表取締役就任に金築理恵就任
有限会社Willさんいんに登記名変更

2015年12月 隠岐オフィス(支店)開設

有限会社 Willさんいん
Nothing desired, nothing gained! Will3in helps you open a new door!

お問い合わせ ☎ 0852-28-6220
(平日 9時30分から 17時30分)

教育事業 | キャリアカウンセリング | Web制作 | 女性・地域支援 | 業務実績 | 会社概要

デジタルな時代だからこそ、「人」が大切。

PERSON×AREA×INFORMATION 私たちは、「人」と「地域」と「情報」をつなぐ企業です。

就職・再就職支援
Willさんいんでは、就職・再就職を目指す方一人一人が、よりよい職業に就けるよう支援を行っています。

女性の活躍支援
地域にあった多様な働き方・ワークスタイルの提案と、そのための仕事づくり・実行体制の構築を行います。

Webアクセシビリティ対応
Willさんいんは、Webサイト制作の標準品質として、アクセシビリティ対応を実践しています。



「ひとづくり」×「しごとづくり」 ＝地域で輝ける幸せづくり

高齢化で労働力人口が減り続ける日本において、女性の労働力活用は今後の日本経済発展の一助を担う大きな存在になると言われています。しかしながら、女性は出産・育児、夫の転勤や介護など、様々な要因により自らのキャリアを中断せざる得ない状況となる場合も多く見られます。女性がキャリアを中断せず、また、何かしらのキャリアを身に付け続けることができる社会の実現を目指すこと。

Willさんいんでは、女性の労働力を活用するために、地域にあった多様な働き方・ワークスタイルの提案と、そのための仕事づくり・実行体制の構築を行います。



●女性におけるライフステージの理想と現実【隠岐の島町】

出産・育児・介護・転勤族の妻・UIターン
働きたい気持ちは持っているが、(やりたい・できる)仕事がない
●介護やレジ打ち以外で自分が活かせる仕事があれば・・・



半農半X(兼業就農)の考え方を隠岐の島町の女性にあてはめると・・・

(例) 半【美容師】+半【X】

半【ヤクルト】+半【X】

●美容師を続けたい。でも、それだけでは収入が不足。

空いた時間に、時間を気にせずに行える仕事があれば・・・。

●保育園に預けている。午前中はヤクルトの配達。子どもの迎えまでにはまだ時間が。
もう少しできることをやって収入に繋げたい！



●女性だけではない・・・「働く」課題【隠岐の島町】

●隠岐世界ジオパークの課題・・・

継続的に世界認定を受けるためには、環境の整備・外部の受け入れ体制の強化など

半【ジオパークガイド】+ 半【X】

半【マリンスポーツインストラクター】+ 半【X】

半【X】・・・【IT】の可能性

ITを使えば、働く場所は島のどこにいても可能となる。
働く場所が固定されなければ、働く時間の自由度が増す。
労働力が増え、仕事がまわると地域の活性化に繋がる。

「地域課題に即した新しい働き方により、いきいきと自分らしく輝ける幸せづくり」
様々な課題解決の糸口をITで見付ける・・・



●テレワークとは？

「テレワークとは、情報通信技術 (ICT) を活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方」のことを言う。

※テレワーク＝
「tele・離れたところで」＋「work・働く」

テレワーク月間を目指す9つのファンクション

- 01: 選択
- 02: ワーク・ライフ・バランス
- 03: 起業
- 04: 企業
- 05: 環境
- 06: 持続
- 07: 交流
- 08: 技術・サービス
- 09: 貢献

テレワーク普及推進運動

テレワーク月間

11月はテレワーク月間です！
期間：2016年11月1日～11月30日

NEWS テレワーク月間って何？ 参加するには ダウンロード

テレワーク月間とは テレワーク推進の取組み 広げよう、テレワーク

私たちはテレワーク月間に参加しています

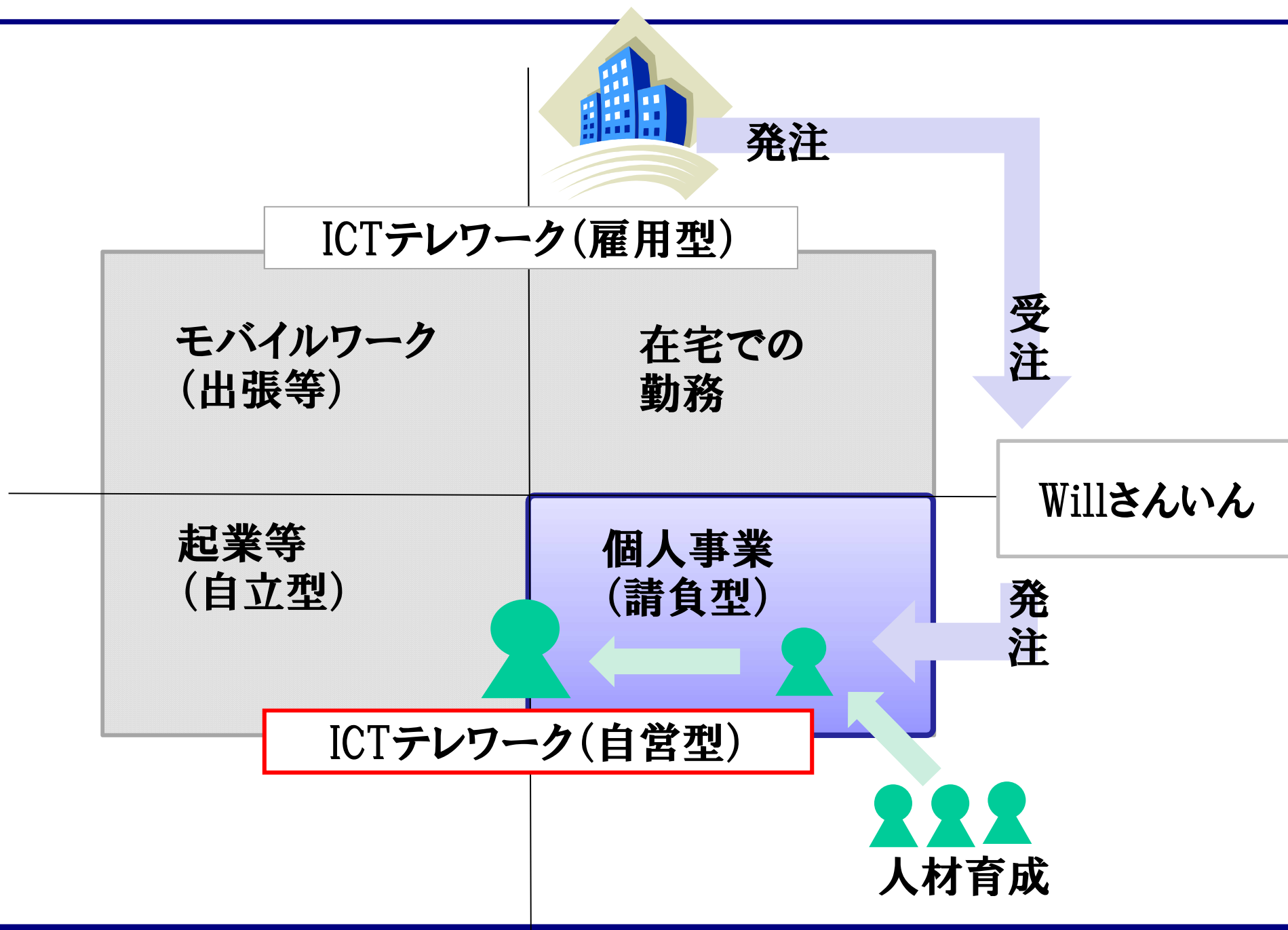
SPACE KIS Kansai Integrated Systems Symphony comnet system JBS 日本ビジネスシステムズ株式会社

総務省 厚生労働省 経済産業省 国土交通省

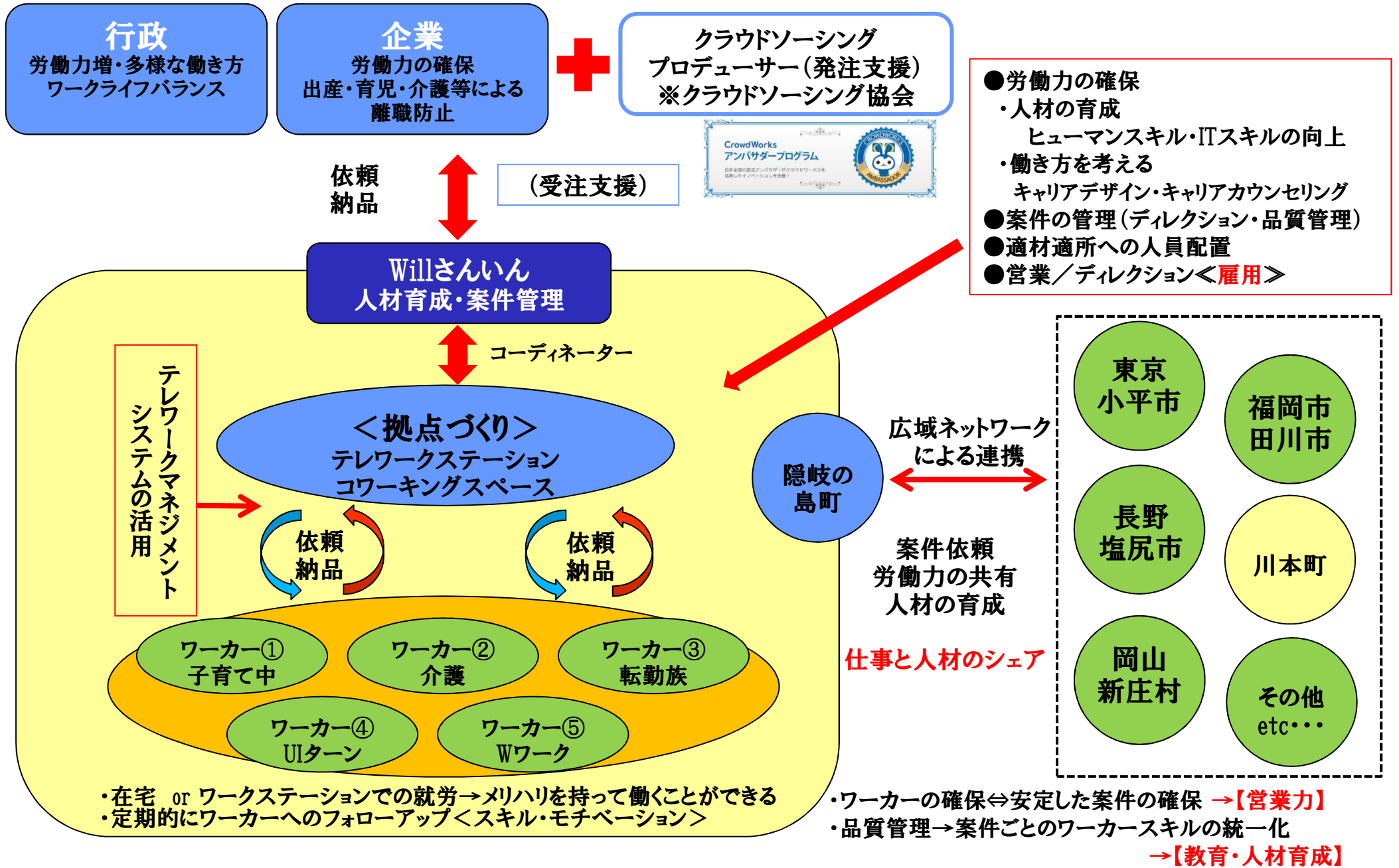
※テレワーク月間実行委員会
一般社団法人日本テレワーク協会



●テレワークの分類



●Willさんいんの取り組むテレワーク推進



● 隠岐の島町での拠点づくり ～ワーカーの現状～

現在はマネジメント役2名(雇用)と登録ワーカー20名がデータ入力を中心にテレワークステーション、並びに自宅にて作業を行っている。

また、スキルアップのために、空き時間に勉強に通ってくるワーカーもいる。

〈ワーカー一例〉

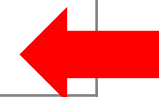
ワーカー	属性			登録時の状況
A	女性	20代	子育て／パート	空いた時間でパソコンを使って仕事がしたい
B	女性	40代	子育て／自営業	本業だけでは収入が厳しい、Wワークをしたい
C	女性	30代	子育て／転勤族 ※元看護師	ご主人が転勤族で長く働くことができない 子どもが幼稚園に行っている間にできることがあれば・・・
D	女性	40代	子育て／パート ※元教員	ご主人が転勤族で長く働くことができない 子どもが幼稚園に行っている間にできることがあれば・・・
F	女性	40代	常勤(パート)	パートで働いている 収入は欲しいが正社員で働きたいと思える仕事がない
G	男性	40代	自営業	本業だけでは収入が厳しい 以前からデザインの仕事に興味があった
H	男性	30代	障がい者	身体的障害があり、毎日、働きに行くことが難しい
I	男性	50代	病気療養	病気のため外出ができない 自宅でやりがいのある仕事ができれば・・・
J	男性	60代	定年退職	定年後にできる仕事が少ない 文章を書く仕事ならできそう?!



●隠岐の島町での拠点づくり ～ワーカーの業務内容～

	業務内容
民間	データ入力(※) 各種調査等のアンケート集計(※) アンケート調査(※) ライティング(※) Webサイト制作・更新代行 デザイン(イラスト)、チラシ制作等のクリエイティブ分野の支援サービス 画像データ編集・Webサイトへの登録(※) データ移行 システム開発(簡易なもの)
行政	データ入力 各種調査等のアンケート集計(※) アンケート調査(※) 情報発信のための情報収集(☆) 情報発信(Webサイト)更新作業(☆)

ITを活用した隙間ビジネス



●行政案件についても、コンプライアンス遵守、そのための指導を徹底化することで、実施が可能となる。

- ・個人情報管理(作業場所の制限)
- ・行政情報として発信する場合のルール

→研修等を通して、著作権・肖像権・情報モラル等を伝えることで、行政情報(公共性を持つ)発信者としての意識を高める。

※は隠岐の島町で実施した業務内容



●テレワーク推進の可能性

- ・育児・子育て・介護しながら働きたい
⇒短時間でも自分の力を社会で活かしたい・存在価値を認められたい
- ・転勤族の妻・次の転勤を考えると経験(キャリア)を活かした仕事に就きにくい
⇒どこにいてもインターネットに繋がる環境があれば仕事ができる
- ・女性が退職すること無く働き続けて欲しい→【テレワークの活用】→会社への復帰
※企業と連携しながら、復帰までをサポート
- ・やりたい仕事・住みたい場所・それだけでは収入が不安→時間と場所にとらわれない柔軟性を活かす
- ・ICTの活用 「楽しむ」だけではない、「働く」への可能性
- ・拠点(テレワークステーション・コワーキングスペース)を作り、そこに管理者(コーディネーター)を配置することで、品質・生産管理が可能
⇒一定の品質を保つ→クライアントからの信頼を得る
- ・自宅以外に仕事ができる場所(テレワークステーション・コワーキングスペース)を作る事でメリハリがつき、生産性の向上に繋がる
- ・他地域との労働力・仕事(案件)シェアが可能→小さい地域での可能性が広がる
 - ・人材が不足しているから仕事を受けられない
 - ・仕事はあるのに人材が足りない

ワーク・ライフ・バランスの
充実！！

インターネットに繋がる！環境を活かすことで、働き方の可能性が広がる！



●将来的な展望

まずは眠っている女性の労働力を活用する所からスタートしたが、将来的にはUIターンの促進、若者の育成による人口流出の防止(地域でもやりたい仕事ができる) = ITを活用し**仕事と雇用の創出**に繋げることで、地域全体の労働力の底上げを目指す。

継続的な労働力の確保のための営業力
マネジメント力
安定したビジネスモデルの構築

将来的には雇用を生み出すスキームづくり
対応可能な案件を増やして行くための人材育成 = 地域でも学べること (IT人材の育成)

地域連携
企業連携
人材のIターン、Uターン促進
若者が地元で長く働ける場の創出 (やれる仕事→やりたい仕事へ)

ICT活用 +
←
これからの働き方
人生のステージに合わせた柔軟な働き方

